

# 評価調査票（通所介護）

事業者名 デイサービス 秋桜

(種別： 通所介護 )

自己評価は太枠内のみを記入してください。

評価の着眼点にない取り組み・工夫などは自己評価の欄に記入してください。

評価基準		項目番号	自己評価		評点	第三者評価
. 介護サービスの内容に関する事項						
1. 介護サービスの提供開始時における利用者等に対する説明及び契約等に当たり、利用者の権利擁護等のために講じている措置						
(1)	利用申込者等からのサービス提供契約前の問合せ及び見学に対応する仕組みがあり、利用申込者のサービスの選択に資する重要事項について説明し、同意を得ている。	1	a	相談・面談・見学・体験・説明を必ず行い、利用者、家族の同意を得てから利用契約を行う。	a	パンフレットにも見学に対応できることを明記しており、相談を受けてから、面談、見学、体験を経て始めて申し込みとなる。重要事項については、丁寧に説明し、同意を得るための欄に記名捺印をもらっている。
(2)	利用者及びその家族の希望を聴取するとともに、利用者の心身の状況を把握している。	2	a	利用者の状況把握を充分にし、家族の希望を聴取しなければ、サービス開始はできない。	a	アセスメントで、利用者及び家族の希望を聞き、心身の状況を把握した上で、それに添った通所介護計画を作成している。
(3)	通所介護計画は、利用者及びその家族の希望を踏まえ、たうえ機能訓練等の目標を記載し、利用者又は家族に説明のうえ同意を得て作成している。	3	a	目標設定は、個々の状況に応じ計画し、充分説明同意を得ている。	a	通所介護計画には、利用者及び家族の希望が反映されており、目標も一人ひとりの状況に応じて設定されている。通所介護計画の同意欄には利用者又は、家族の記名捺印がある。
(4)	利用者又はその家族に対して、必要な利用料の計算方法について説明をし、同意を得ている。	4	a	重要事項、パンフレットにより同意を得なければサービスを開始していない。	a	重要事項説明書に明記されており、文書の同意欄に利用者又は家族の記名捺印がある。
2. 利用者本位の介護サービスの質の確保のために講じている措置						
(1)	認知症ケアの質を確保するために、従業員に対する認知症に関する研修を行うなどの取り組みを行っている。	5	a	認知症ケアは当事業所の専門とする部分である。職員だけではなく、家族や地域の方々にも相談、学習会などを行っている。	a	系列に認知症高齢者グループホームもあり、法人役員は認知症に関する専門的知識が豊富で、研修の内容は充実している。
(2)	利用者のプライバシーの保護の取組みを図っている。	6	a	個人情報の保護は徹底し、全職員の研修等も行っている。	a	マニュアルに沿って充実した研修が実施されている。特に新人研修において、徹底するようにしている。職員も近隣に住んでいる人が多いので、施設外では、絶対に利用者のことに触れないなど、意識が高い。
(3)	身体拘束等の廃止のための取組みを行っており、機能している。	7	a	身体拘束は絶対に行わないことが、原則になっている。言葉での否定や行動制限等もなく、利用者の自由を優先するケアに日夜工夫を重ねている。	a	重要事項説明書で身体拘束を行わない旨を記載している。言葉での禁止や行動制限まで含め、身体拘束は行っていない。研修も実施されている。
(4)	機能訓練の必要な利用者に対しては、計画的に機能訓練を行っている。	8	b	生活介護が多いため、機能訓練は生活のリハビリが主であり、日常生活が当たり前になり、自立した生活が送れるよう計画している。	a	生活リハビリの利用者がほとんどだが、機能訓練が必要な利用者に対しては、計画を立てて実施している。利用開始時には歩行困難だった利用者が今では職員の手伝いをするまでになった例もある。

評価基準		項	自己評価	評点	第三者評価
(5)	利用者の家族との交流を行うなど、利用者及びその家族との意見交換等を行う機会を設けている。	9	a 行事には家族の参加も多く、日常的にも家族の交流は多い。サービス時、連絡ノートの意見交換も多い。	a	運動会や日帰り旅行等の行事でも利用者との交流を実施しているが、何より、毎日の送迎時を良い機会と捉え、積極的に家族と話すようにしている。
(6)	入浴介助、清拭及び整容、排せつ介助、食事介助等に関して、通所介護の質を確保するための取り組みがあり、利用者ごとに実施内容を記録している。	10	a 個々の利用者に応じた尊厳を傷つけないケアを行っている。実施記録も欠かさず記録している。	a	いずれも、充実したマニュアルが整備され、一人ひとりの実施内容の記録がある。
(7)	サービス提供開始時に、体温、血圧等利用者の健康状態を確認し、健康状態に問題があると判断した場合には、家族や主治医等との連絡を図り、サービス内容の変更を行うなど利用者の健康管理を行っている。	11	a 利用者の健康管理を充分に行い、少しの異常でも気付いたら家族や主治医と連携している。	a	サービス提供開始時に健康状態を確認し、問題があると判断した場合は、家族、主治医に連絡を取っている。また、入浴から清拭にする等、適切にサービスの内容を変更している。連絡帳にも記載し、家族に報告している。
(8)	利用者の状況を踏まえた送迎を行うため、利用者及びその家族との打合せを行い、送迎車輦への乗降及び送迎車輦内での安全の確保のために、介助のための人員を配置している。	12	a 利用者と家族の希望を取り入れ送迎時間を組み、利用者の身体状況により、車両(車椅子対応等)を選び、画一的な送迎は行っていない。又、安全には充分配慮している。	a	送迎マニュアルがあり、それに沿って実施されている。利用者の状況を良く把握し、個別に送迎している。また、安全確保のための人員も配置されている。
(9)	レクリエーション活動を計画的に行っており、少人数又は利用者ごとのレクリエーションにも配慮している。	13	a 利用者の好みにあわせ、レクリエーションの計画をたて、毎日各々が好きなことを行っている。	a	毎日、複数のレクリエーションが用意されているほか、利用者ごとの希望にも対応している。買物や散歩、将棋や刺し子、野球観戦に行く利用者もいる。
(10)	利用者の行動範囲について、バリアフリー構造とする工夫を行うなど、安全性等への配慮を行っている。	14	b 民家改修のため、玄関の段差や家庭風呂を生活リハビリの一部と考え、全面バリアフリーとはなっていない。当然その部分には安全を配慮し、転倒事故等一度もおきていない。	a	民家を改修したため、玄関等に段差はあるが、生活リハビリと捉え、職員が見守りを徹底している。
3. 相談、苦情等の対応のために講じている措置					
(1)	利用者又はその家族からの相談、苦情等に対応する仕組みがあり、その対応結果を説明している。	15	a 相談の対応には、十分な時間をとり、家族の安心を得ている。又、平素、苦情や不満を抱かないよう職員一同心がけ努力している。	a	重要事項説明書に苦情相談窓口と担当者名を明記している。相談・苦情マニュアルも整備されており、記録も取っている。対応には時間をかけ、納得のいく説明をしている。
4. 介護サービスの内容の評価、改善等のために講じている措置					
(1)	通所介護計画等に、サービスの実施状況及び目標の達成状況の記録があり、評価を行っている。	16	b 目標、計画、実施状況の記録は充分に行っているが、目標の達成、状況、評価は完全にできているとは思えない。	a	通所介護計画には、目標、実施状況を記録しており、達成状況の評価についてはスタッフ会議やカンファレンスで全員で行い、計画の見直しに繋げている。
(2)	通所介護計画の見直しの結果、居宅サービス計画の変更が必要と判断した場合、介護支援専門員に提案等をしている。	17	a 介護支援専門員との計画の変更の提案は積極的に行っている。	a	見直しの結果、変更が必要と判断した場合は、積極的に介護支援専門員に提案している。

評価基準		項	自己評価		評点	第三者評価
5. 介護サービスの質の確保、透明性の確保等のために実施している外部の者等との連携						
(1)	介護支援専門員に対し、定期的に状況報告し、連携を図っている。	18	a	毎月の実績報告時に状況報告をしている。状況に変化があった場合は速やかに報告し連携を図っている。	a	定例で月1回は報告しているが、状況に応じて、随時報告している。
(2)	利用者の主治医等との連携を図っている。	19	b	ほとんどの利用者の主治医を周知し、連携をとっているが、数名は大学病院等の主治医で家族を通じての連携である。	a	利用者ごとの記録に主治医の連絡先を記載し、連携を取りながらサービスを提供している。
(3)	事業所の行事、催し、サービス内容等について、地域への情報提供を行ったり、ボランティアを受け入れる仕組みがある。	20	a	地域との交流は、当事業所がもっとも力を入れているところである。近隣住民や地区の方々の協力にはいつも感謝している。	a	子供会や町内会の参加もある夏祭りを主催したり、月1回のペースで手品、フラダンス等ボランティアによる行事がある。そのほか地元の中学生の体験学習や教職課程教職課程の学生がボランティアでケアの手伝いに来ることもある。
. 介護サービスを提供する事業所又は施設の運営状況に関する事項						
1. 適切な事業運営の確保のために講じている措置						
(1)	従業者が守るべき倫理を明文化し、倫理及び法令遵守に関する研修を実施している。	21	a	定期的に研修を実施し、介護保険制度だけではなく、関係する法律の学習も行っている。	a	倫理規定があり、研修にも盛り込まれている。
(2)	事業計画を毎年度作成しており、経営・運営方針等が明記されている。	22	a	県庁NPO活動推進課に提出、開示されている。	b	年度ごとの事業計画が作成されており、実施方針が明記されている。しかし、通所独自の部分は計画がない。人材育成の部分を計画に盛り込むことも重要と思われる。
(3)	事業計画、財務内容等に関する資料を閲覧可能な状態にするなど、事業運営の透明性確保に取り組んでいる。	23	a	特定非営利活動法人であり、職員全員が会員のため、事業運営等総会で配布し、オープンである。	a	重要事項説明書に、事業計画、財務内容の閲覧が可能であることが明記されている。
(4)	事業所の改善課題について、現場の従業者と幹部従業者とが合同で検討するなど、課題改善に取り組んでいる。	24	a	小規模事業所のため、幹部職員も現場の重要な労力であるため、課題の改善等、職員会議でいつも検討している。	a	幹部従業者も日常的に現場に入っているため、改善課題についても良く分っており、職員会議の場で、全員で検討している。
2. 事業運営を行う事業所の運営管理、業務分担、情報の共有等のために講じている措置						
(1)	事業所の組織体制、従業者の権限、業務分担及び協力体制を定めており、機能している。	25	a	新人研修はもちろん、全職員にも組織体制、業務分担等の周知は充分行っている。	a	組織体制、業務分担は明確に定められており、研修時にも周知して、十分に機能している。
(2)	サービスに関する情報について、従業者が共有するための仕組みがあり、機能している。	26	a	職員連絡ノートに情報を記入し、プリント等は閉じておき、読んだ人はサインしチェックする。	a	サービスに関する情報は職員会議で共有するほか、連絡ノートに記入し、全員がサインするようにしている。

評価基準		項目	自己評価	評点	第三者評価
3. 安全管理及び衛生管理のために講じている措置					
(1)	事故発生時、非常災害時における安全管理・衛生管理のための仕組み又はその再発・蔓延を防止するための仕組みがあり、機能している。	27	a それぞれにマニュアルがあり、定期的に研修している。避難訓練は3ヶ月1回で、年1回は消防署の立会いや指導も依頼している。事故、ヒヤリハット報告書により再発防止も徹底している。	a	それぞれのマニュアルがあり、定期的に研修をしている。避難訓練は3ヶ月に1回実施している。
4. 情報の管理、個人情報保護等のために講じている措置					
(1)	個人情報の利用目的や保護規定を公表するなど、個人情報保護の確保のための仕組みがある。	28	a 利用者家族には、契約時に保護規定を説明、押印確認している。職員には研修にて徹底している。	a	重要事項説明書に個人情報の利用目的を明記するとともに、「個人情報保護の方針、利用目的」を事業所内に掲示している。
(2)	利用者の求めに応じて、サービス提供記録を開示する仕組みがあり、機能している。	29	a 希望者にはいつでも記録を開示している。	a	重要事項説明書にサービス提供記録の開覧が可能であることを明記している。
5. 介護サービスの質の確保のために総合的に講じている措置					
(1)	通所介護に従事する全ての現任の従業者（新任者を含む）を対象とする研修等を計画的に行っている。	30	a 内部研修計画をたて、年9回行っている。欠席者には、次回の研修時に、再度復習をしている。又外部研修も積極的に参加している。	b	全ての従業者を対象に、内部研修の年間計画を立て、実施している。しかし、一人ひとりにどのような研修が必要かを見極め、受講できる体制があるというところまでには至っていない。
(2)	利用者の意向、意向調査結果、満足度調査結果等を、経営改善プロセスに反映させるなど、サービスの質を確保・自己評価する仕組みがあり、機能している。	31	a 利用者アンケート調査を年1回行い、改善計画に結びつけている。	a	利用者アンケートは年1回実施しており、その結果を踏まえて事業所全体のサービス内容を検討する会議を開催している。
(3)	サービスの提供のためのマニュアル等の活用及び見直しの検討を定期的に行っている。	32	a 職員ケア会議（月1回）において、マニュアル等の検討を行っている。	a	マニュアル等は、従業者が自由に閲覧し、活用している。また、見直しについても月1回の職員会議で検討している。